

# 福祉事業実施の現況

## 一、成人病予防の拡充

### (一) 人間ドック

人間ドックは、教職員の福利厚生事業の最重点事業として県、共済組合及び互助会の三者により実施している。四十歳以上の教職員を対象に、公立学校共済組合東北中央病院ほか県内各地域の総合病院等において、一泊二日又は二泊三日の日程で身体各部の専門的な検査を行い、疾病の早期発見、予防に努めている。

検査対象年齢は、四十歳以上の教職員の受診機会の均等を図る観点から、四十歳、四十五歳、五十歳及び五十五歳に該当する者を五年サイクルで実施しているが、本年度は、特に互助会において五十六歳以上の教職員について

表1 昭和53年度人間ドック実施状況

医療機関	委託人員	備考
県保健衛生協会	50人 440	上段の人員は 56歳以上の者
済生会福島病院	100	
太田総合熱海病院	40 260	
公立岩瀬病院	30	
公立小野町総合病院	30	
会田病院	50	
塙厚生病院	30	
県立会津総合病院	30 100	
竹田総合病院	100	
磐城共立病院	20 100	
松村総合病院	10 150	
計	1,390	

表2 昭和52年度人間ドック受診者数

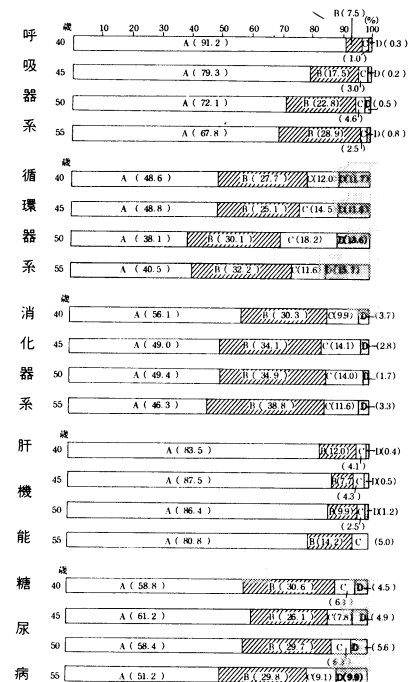
医療機関	入院者 決定者	受診者	受診率
県保健衛生協会	387人	387人	100%
済生会福島病院	67	67	100
太田総合熱海病院	265	265	100
公立岩瀬病院	30	29	97
公立小野町総合病院	30	30	100
会田病院	50	50	100
塙厚生病院	30	30	100
県立会津総合病院	130	130	100
竹田総合病院	137	136	99
磐城共立病院	120	113	94
松村総合病院	166	166	100
県立大野病院	50	48	96
東北中央病院	16	15	94
計	1,478	1,466	99

も実施している。本年度の実施状況は、表1のとおりである。五十二年の実施結果は、表2、3のとおりであるが、循環器系、消化器系、糖尿病に異常所見者が多く見られる。循環器系では治療を要する者が一、二%、日常生活上注意を要する者が一、五%、消化器系では前者が三%、後者が一三%、糖尿病では前者が六%、後者が七%となっている。

### (二) 婦人科検診

女子教職員の健康保持を図るため、県と共済組合の共催事業として三十歳以上の女子教職員を対象として子宮ガン検診を、また、共済組合単独で三十五歳以上の女子組合員を対象に乳ガン検診を実施し、子宮ガン、乳ガンの早

図1 昭和52年度人間ドック検査項目別年齢別結果状況



※指導上の区分  
(表3・図1共通)  
A: 異常なし。  
B: わずかに異常は認めるが日常生活上異常なし。  
C: 日常生活上注意を要する。  
D: 治療を要する。

表3 昭和52年度人間ドック実施結果分類表

検査項目	指導基準				受診者 (e)	指導基準別比率			
	A(a)	B(b)	C(c)	D(d)		(a)/(e)	(b)/(e)	(c)/(e)	(d)/(e)
一般理学	975	247	196	28	1,446	67%	17%	14%	2%
呼吸器系	1,154	263	44	5	1,466	78%	18%	3%	1%
循環器系	660	404	217	183	1,464	45%	28%	15%	12%
消化器系	732	494	189	40	1,455	50%	34%	13%	3%
腎機能	1,118	301	44	3	1,466	76%	20%	3%	1%
胆のう	1,055	82	30	10	1,177	89%	7%	3%	1%
肝機能	1,244	141	55	9	1,449	85%	10%	4%	1%
糖尿病	866	415	105	79	1,465	59%	28%	7%	6%
血液系	1,161	236	36	27	1,460	80%	16%	2%	2%
血清	1,244	14	7	6	1,271	97%	1%	1%	1%
外科	269	62	12	15	358	76%	17%	3%	4%
耳鼻咽喉科	305	30	9	14	358	85%	8%	3%	4%
歯科	9	40	2	90	141	6%	29%	1%	64%
眼科	1,100	299	34	30	1,463	76%	20%	2%	2%
皮膚科	309	2	1	15	327	94%	1%	1%	4%
婦人科	371	49	6	16	442	84%	11%	1%	4%